

【めむろ未来ミーティング日程 11】

令和 2 年 1 月 16 日 (木)

13:30～14:56

雄馬別地域福祉館

■参加者 5 人

■芽室町 町長、企画財政課長、農林課長、建設都市整備課長

■記 録 矢野

■対応・検討が必要な事項

なし

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
『公共施設の配置構想』
- 4 意見交換

【意見】

地域福祉館の件。3 年くらい前から雄馬別地域だけではなくて伏見・東伏見・新大和も含めて協議してきた。防災の観点で土地の低いこの場所ではなくて、高い場所ということで検討している。

上美生の東地区全域を考えての建設規模になろうかと思うが。

【企画財政課長】

昭和 48 年雄馬別地域福祉館が建設され、町内では古いほうから 4 番目であり、優先順位は高いと認識しているので、令和 3 年度から 5 年度までには建設したいと考えている。

地域福祉館を整備する場合は通常使用する場合を想定した規模になること、避難所としての機能にな

ると地域全員が避難するという見込みの規模にはならない。その理由は避難勧告や避難指示をだした場合でも実際に避難してくる方は何割という数字になるだろうと認識している。よって、今後はそういったことを総合的に考慮しながらになる。

【町長】

雄馬別という名称だから雄馬別だけということではない。

【意見】

農協の懇談会なども上美生地区を西と東に分けた形で実施している。

平成 28 年の災害では想定もしなかった橋崩落で上美生市街地まで行けなかったこともあり、その場合には東地区だけでの対応にならざるを得ない。避難物資や規模になると思うが。

【町長】

基本的には農村地域の福祉館は半径 4 キロを想定している。市街地は 500 メートル。

地域協議の状況はどうか。

【意見】

やはり、ある程度の大きさを求める声はある。また、建設場所を上にすることで雄馬別以外の人の利便性はあがるのではとの意見もある。

最近建設した美生地区・北明地区などはどのくらいの規模になっているのか。

【町長】

将来に向けた人口減を加味しながら作っているのが全体的に従来よりも小さな規模になっている。厨房を大きく持っているところが多かったが、今は炊き出しもほとんどないし、葬儀もしなくなっている。栄地区では家庭用のキッチンサイズの小さいものになっている。その部屋の機能に応じるとコンパクトなものになっている。

しかし、その一方でトイレは車椅子でも利用できるようにスペースは広がる。

【意見】

関連した件。新たな建設の話が進むと東伏見地区のごみ集積場などの扱いはどうなるのか。

【町長】

ごみ集積場は生活に係ることであるので防災とは切り分ける必要がある。今までの場所から何キロも離れるということにはならないので、協議になるとは思うが基本的には残すという選択になるはず。

【意見】

平成6年に上美生にきたのが25年前。この地域には農家5戸、非農家5戸で久しく赤ちゃんを見ることもなくなった。今後も人口減少でこの先は農家しか残らないと思う。もはや、限界集落。

かつて昔の農道の畦道は風情があったものだが現在では人手もお金も少なくなり、草が伸び放題という所も多々あるように感じる。だからどうしてほしいというのはないが独り言として聞いてほしい。

【町長】

赤ちゃんの話が出たが町の人口の話をしたい。今年の新成人は207人、去年一年間に生まれた赤ちゃんは100人以下になっている。この数字を聞くと単純に半分の子どものしかいないことになり、人口減少や少子高齢化が進んでいると実感している。

この問題を止めることは難しいし、今住んでいる方が郷土に愛着を持って生き活きと暮らしてほしい。また、高齢者になっても社会活動などを続けられるような仕組みを作りたい。

また、農家数も毎年10戸程度減少している。現在の平均面積は35ヘクタールだが、この先もどんどん増えた時に限界が来るはずだし、そう遠くない将来には条件の悪い場所などが耕作放棄地になる可能性もあるかもしれない。だから、新規就農や労働者としての住宅を整えようと思っている。今までは住む場所や冬期間の働ける場所なども一定程度めどがついたので先ほど説明した24戸作ろうとしている。

関係人口という言葉があり、芽室町を応援する人を増やしたい思っていて、そして芽室町に行ってみたくて来てくれることで交流人口、そして最終的に移住や定住に繋がればいいと思っている。

【意見】

交流という話があった。若い人で独身の人も多いので町とも一緒に出会いの場など必要かもしれないが。

【町長】

農協青年部でも半分は独身と聞いて驚いた。

新得町ではレディースファームがあり、就農や結婚する方もいるという話は聞いているので、そのような取り組みの必要性は感じている。

【意見】

やまなみの二階にも人を呼び込める施設もあるがほとんど活用されていない実態である。農業研修生と生徒の生活リズムも違うので実態に即したものにしたい方がいい。

【町長】

後継者問題ということでは新得や鹿追には危機感が強かったのではないかと感じているし、芽室町は少し遅れている感はある。今後は大切なポイントになるので活用の方法を考えたい。

【意見】

農試住宅跡も使えるのか。

【建設都市整備課長】

スペースは3LDKでかなり広い。単身者でも家族連れでも十分の居住スペースである。

仕組みのイメージは個人にではなく、農家や企業に貸すことを想定している。

【意見】

上美生に来て25年が経過した。この年齢になると迷惑をかけないで生きていこうと考えている。行

政の力に頼らないようにはしたい。

【町長】

地域コミュニティの場所として地域福祉館の重要性や必要性があるから町として計画的に建て替えなどを進めていきたい。

【意見】

やまなみの件。雇用体系が変わると聞いたが。

【農林課長】

現在は町の臨時職員として報酬を支払っているが時間的な拘束もあり、委託という形に変えようと協議を進めている最中である。しかし、今までの業務内容については全く変わることはない。

やまなみは上美生の重要な施設であると考えているので今後もさまざまな協議をしたいと思う。

【意見】

代替職員の扱いや待遇はどうなるのか。

【農林課長】

細かいことは差し控えるが労働の対価を適正な報酬とすることで調整している。

【意見】

上美生農村環境改善センターはどうなるのか。

【企画財政課長】

今までとおり。

【意見】

上美生の消防体制はどうなるのか。

【企画財政課長】

上美生消防は24時間を3人の職員体制であったが、4月からは日勤の1人体制にすることで調整している。

【意見】

夜中の火災発生時はどうなるのか。

【企画財政課長】

消防団や市街地からの消火活動になる。

【町長】

広域消防であることから最寄りからの出動になるので大正からも考えられる。

【意見】

119番や110番をかけるとうなるのか。

【企画財政課長】

消防に関しては帯広の指令室に届くことになり、茅室消防には転送されないの、住所は明確に告げる必要がある。

【意見】

人口減少で大変になるという話はよく聞くが、ムリに残したり、作ったりする必要はないように思う。人が減っているのに団体や役はそのままというケースが多いので、それを引き受ける人だけの負担が増えているかもしれない。

【町長】

理解する。

【意見】

嵐山のキャンプ場は再生するのか。

【町長】

あの河川敷側でもう一度再生する気持ちはない。今後はイベントスペースとして活用できる可能性がある。キャンプ場は山のふもとなどがいいかもしれない。

設えひとつで雰囲気が変わるので可能性を持てる場所になるポテンシャルがあると思っている。

【意見】

大阪の高校生の体験などを受け入れているが嵐山

の景色には感動している。

【町長】

嵐山からの展望台からは感動すると思うし、星も本州の人には魅力的だと思う。木の整備などの一定程度のハード面を整える必要がある。

嵐山の構想は3月までには公表したいと思っている。

【意見】

ネットワーク環境の件。今はI SDN。

【町長】

民間事業者は、かつては市街地しか敷くことしかできなかった。現在は幹線までは敷くことも会社も前向きな感触があるので、少しでも前に進めたいと思っている。



14:56 終了